

様式第 3

会 議 録

会 議 名	平成 3 0 年度第 1 回野田市行政改革推進委員会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 行政改革大綱の見直しについて（諮問）（公開） 2 諮問事項細目（案）について（公開） 3 野田市の現況について（公開） 4 行政改革推進委員会スケジュール（案）について（公開）
日 時	平成 3 0 年 7 月 2 5 日（水） 午前 1 0 時から午前 1 0 時 4 5 分まで
場 所	市役所 8 階 大会議室
出席者氏名	会長 山本和也 副会長 田中かよ子 委 員 江原正子、小松栄、染谷よし江、津佐清、中野祐三郎、谷田貝しづ子、山崎清、横川しげ子 事務局 鈴木有（市長）、今村繁（副市長）、佐藤裕（教育長）、中沢哲夫（企画財政部長）、佐賀忠（総務部長）、杉山一男（生涯学習部長）、長妻美孝（学校教育部長）、金田昌丈（財政課長）、代田明洋（収税課長）、富山勝之（人事課長）、松本正明（営繕課長）、大久保貞則（行政管理課長）、堀江賢司（行政管理課主幹）、武田真弓（行政管理課長補佐）、大久保崇雄（行政管理課事務管理係長）、島津奈身（行政管理課事務管理係主任主事）、古谷尚久（行政管理課事務管理係主任主事）
欠席委員氏名	無し
傍 聴 者	無し

議 事	第 1 回野田市行政改革推進委員会の会議結果（概要）は、次のとおりである。
行政管理課長補佐	平成 3 0 年 7 月 2 5 日午前 1 0 時、開会を宣言し、会議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。
市長 行政管理課長補佐	会議録作成のため録音機を使用することについて了解を得た。 市長の挨拶を求める。 < 挨拶 > 委嘱後、初めての委員会開催であるため、委員の紹介を行い、市の出席者並びに事務局の職員を紹介した。議事に当たり会長の選出を行うため、仮議長を市長に依頼する。
市長（仮議長）	野田市行政改革推進委員会設置条例第 5 条第 2 項の規定に基づき、委員の互選により会長を選出するため、委員の意見を伺う。
小松委員	山本委員を推薦する。 < 異議無しの声 >
市長（仮議長） 行政管理課長補佐	山本委員に会長を決定し、仮議長を降りる。 山本会長に挨拶を求める。
山本会長 行政管理課長補佐	< 挨拶 > 議事進行を山本会長に依頼する。
山本会長	野田市行政改革推進委員会設置条例第 5 条第 2 項の規定に基づき、委員の互選により副会長を選出するため、委員の意見を伺う。
小松委員	田中委員を推薦する。 < 異議無しの声 >
山本会長 田中副会長	田中委員に副会長を決定し、挨拶を求める。 < 挨拶 >
山本会長	議題 1 行政改革大綱の見直しについて（諮問） 市長に、行政改革大綱の見直しについての諮問を求める。
市長 山本会長	諮問書を読み上げ、諮問書を山本会長に手交する。 諮問を受け、慎重かつ活発に審議を進める旨の発言をする。また、市長が別の公務のため退席することを

<p>山本会長</p>	<p>知らせる。          &lt;市長退席&gt;          議題2 諮問事項細目(案)について          諮問事項細目(案)の内容について、事務局に説明を求める。</p>
<p>行政管理課長 山本会長</p>	<p>&lt;資料に基づき諮問事項細目(案)の内容を説明&gt;          諮問事項細目(案)の内容について、質疑及び意見を求める。</p>
<p>山本会長</p>	<p>&lt;質疑及び意見無し&gt;          議題2については、事務局案どおりとすることを提案する。</p>
<p>山本会長 行政管理課長 山本会長 津佐委員</p>	<p>&lt;異議無しの声&gt;          議題3 野田市の現況について          野田市の現況について、事務局に説明を求める。          &lt;野田市の現況について説明&gt;          野田市の現況について、質疑及び意見を求めた。          将来人口について聞きたい。平成42年度まで、説明にあったような流れになるということだが、4月18日付けの朝日新聞に掲載された国立社会保障人口問題研究所が公表した地域別将来推計人口を確認した。野田市の人口は、2015年時点で15万3583人であるが、30年後は驚くことに11万9137人となり、22.4%の減少率である。これに伴い、生産者人口も大幅に落ち込むことになる。千葉県全体の減少率は12%ほどであることから、野田市が著しく落ち込んでいく一方で、柏市及び松戸市は野田市ほどの落ち込みはなく、流山市はむしろ増加する見込みとなっていた。</p>
	<p>財政の問題などいろいろな説明があったが、歳出に対して、歳入をどうするのか。野田市で若い就業者がいかにか働いてくれるか。あるいは、若い家族がいかにか野田市に住んでもらえるか。このような視点が大変大切なことになるのではないのか。行政改革推進委員会とは離れてしまうかもしれないが、歳入の問題から街の活性化をどうするのかという問題につながり、これは一番重要だと考える。</p>

山本会長

今の説明で、人口が減少していく流れの話はあったが、もっと人口減少が加速化されるという現実を直視しないとならない。そのような中で私共に何ができるのかと、そういうふうに感じている。

これは非常に重要な問題であり、将来のことについても、人口減少をある程度踏まえた話の中で検討していく必要がある。

副市長

この人口フレームについては、総合計画審議会において議論される場となっている。現在、新たな総合計画があり、その推計が先ほどの説明で出てきたものではあるが、現実にはそれよりも早く人口が減少していくということがある。ただ、この人口フレームを作るに当たっても、人口問題研究所が定期的に予測を出しているが、少し慎重に見る部分があり、これまで野田市も結果上は、人口問題研究所の数値より人口は多く推移しているということもあって、このような推計になった。

ただし、津佐委員も発言した、生産人口の増加や雇用環境などは総合計画の中でも重要な課題になってくる。また、歳入については、人口の減少を踏まえて考えておかなければならないと思っている。その中で、必要な施策は行わなければならないため、例えば歳出の中で節減できるものはしていく。その辺りで、例えば補助金についても、本当に必要なところに適正な補助金を交付するといった歳出抑制の部分について、行政改革推進委員会で議論をしていただけたらありがたい。

谷田貝委員

なお、総合計画については中間見直しがあるので、その時点で人口推計との差が顕著な状況であれば見直さなければならないと考えている。

先ほど副市長の話で行政改革推進委員会が歳出について考えていかなければならないといった話があったが、資料10ページに歳出内訳の推移、歳出内訳割合の推移とある中で、民生費の増加が著しく、グラフ上では民生費が、29年に38.7%まで増加している。著しく増加している民生費について、詳しく教

<p>企画財政部長</p>	<p>えてほしい。</p> <p>民生費の主なものとしては、福祉関係の支出である。少子高齢社会の到来によって、かなり深刻になってきている。また、障がい者施策の充実が非常に進んできているほか、子育て環境の充実、保育所の問題等もある。さらに、高齢者人口が特にここ数年、年々増加してきており、人口動態においても少子高齢化がなかなか収まらない、そう簡単に収まらないであろうという見通しが立っているため、非常に民生費が増加している状態になっている。</p>
<p>谷田貝委員</p>	<p>民生費イコール福祉費ということになるということか。そのような理解をしても増加が著しすぎる。この民生費についても精査したいと思っている。</p>
<p>山本会長</p>	<p>他の意見を求めるが、意見無しであったため、野田市の現況については事務局の報告どおりとすることを問う。</p> <p>&lt;異議無し&gt;</p> <p>議題4 行政改革推進委員会スケジュール(案)について</p>
<p>山本会長 行政管理課長 山本会長</p>	<p>スケジュール案について説明を求めた。</p> <p>&lt;スケジュール案について説明&gt;</p> <p>スケジュール案について意見を求めた。</p> <p>&lt;意見無し&gt;</p>
<p>山本会長 行政管理課長 山本会長</p>	<p>その他、連絡事項の有無を事務局に問う。</p> <p>&lt;次回の日程をお知らせする&gt;</p> <p>午前10時45分、閉会を宣言した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>